

市の宣言

- ◇男女平等参画都市宣言
- ◇非核平和都市宣言
- ◇青少年健全育成都市宣言
- ◇交通安全都市宣言



発行・町田市 編集・政策経営部広報課
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22
市役所の代表電話 042・722・3111
市役所の窓口受付時間 午前8時30分～午後5時
発行日・毎月3回1の日(1日、11日、21日)
ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp/>



携帯電話用 QRコード

今号の紙面から

2～3面

市長・市議会議員 当選者

9面

町田の春をお楽しみ下さい
2014町田さくらまつり

町田の未来をつくる

▶ 市民生活の質を向上 ◀ ▶ 市民目線で行政経営改革 ◀

3期目の 市政運営に 向けて

町田市長 石阪丈一



私は、2月23日に行われた市長選挙において、多くの市民の皆様からの温かいご支援とご支持をいただき、三たび市政運営を担当させていただくことになりました。その責任の重大さに身が引き締まる思いです。

2006年に市長に就任して以来、「町田の未来をつくる」ために、「2つの志」を持って市政運営に取り組んでまいりました。

一つは、すべての世代の方々へ生活の質の向上を実感していただくことです。そのために、町田市の目指すべき姿を「将来を担う人が育つまち」、「安心して生活できるまち」、「賑わいのあるまち」、「暮らしやすいまち」という4つの都市像に示し、実現に向けて政策を推進してまいりました。

もう一つは、市民目線で行政経営改革を進めることです。そのために、「市民との協働」、「市役所の能力向上」、「財政基盤の強化」に努めてまいりました。

3期目の市政運営も、引き続き「町田の未来をつくる」をテーマとして「2つの志」を具現化すべく、以下の6つの重点施策をはじめ、さまざまな課題の解決に全力を尽してまいります。

① 子育て世代が選ぶまち町田の実現

将来を担う人が育つまちをつくるためには、その親が安心して、楽しく子育てができる環境が必要です。

そこで、保育サービスの充実と定員の増加を図り、待機児童の早期解消を目指します。そのために、20年間期間限定認可保育所の整備、認定こども園の整備支援や家庭的保育者の増員を進めてまいります。

また、公立保育園に「地域子育て相談センター」を設置し、各分野の専門家を配置することで、出張子育て相談をはじめ、すべての子育て家庭を積極的にサポートする体制づくりをいたします。

更に、子どもたちの地域における遊びや成長の拠点として、忠生地区に続き、市内5館目の子どもセンターを、町田地区に整備いたします。

② 環境先進都市町田の実現

私が市長に就任した2006年当時、町田リサイクル文化センターの建て替えは喫緊の課題でした。この2期8年で、市民の皆様との協働により、「ごみ」から「資源」へ発想を転換し、「町田市一般廃棄物資源化基本計画」および「町田市資源循環型施設整備基本計画」を策定しました。

この計画に基づき、2020年4月の稼働に向けて、新しい熱回収施設と生ごみバイオガス化施設の整備を進めてまいります。あわせて市内3か所にプラスチック、ビン、カンなど資源ごみの処理施設を新たに整備し、持続可能で環境負荷の少ない都市を目指してまいります。

③ みどりの拠点整備

町田市の財産である豊かなみどりを、より多くの人に楽しんでもらい、身近に感じてもらう取り組みが重要です。

そこで、薬師池公園を中心に、町田リス園などの施設や七国山の豊かな自然を有する薬師池公園地域の魅力を、一層高める取り組みを進めております。そのひとつとして、地域情報の案内所や地元農産物の直売所などを有する周遊拠点を整備いたします。

また、北部丘陵地域においては、道路をはじめとする生活基盤の強化をするとともに、農の担い手を育て、水田を再生し、貴重な里山景観を継承することで、地域の活性化を図り、観光資源としての活用も進めてまいります。

更に、豊かな自然の中でスポーツを楽しむことができる野津田公園に、2020年の東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地の招致を進め、トップレベルのアスリートが集うスポーツの森として世界に発信いたします。

④ 町田駅周辺のまちづくり

町田駅周辺を、「ヒト・モノ・文化が交流するまち」へと魅力を高めていくためには、多くの人が集える空間の確保と、多様な楽しみ方ができるまちづくりが必要です。

そこで、鉄道や路線バスの交通結節点としての機能を向上するために、駅前広場を整備するとともに、回遊性の高い動線と快適な環境を創出いたします。

また、従来の商業機能に加え、新たな賑わいを創出する中心的存在として、1500人から2000人規模のコンベンションホールの整備を進めてまいります。

更に、芹ヶ谷公園にはガラス工芸品と陶磁器を中心とした美術館を新たに整備し、国際版画美術館とあわせて、芸術の森とも呼べる空間を演出してまいります。

⑤ 基幹交通機能の強化

9つの鉄道駅がすべて外縁部に位置する町田市にとって、多摩地域間や市内の移動をしやすくする、新たな交通システムの構築は悲願です。

そこで、多摩都市モノレールと小田急多摩線の延伸の早期実現に向けた取り組みを推進いたします。中でも、市内を南北に貫く幹線道路としても重要となる、小野路、小山田エリアのモノレール導入路線の都市計画決定を早期に進めてまいります。

また、市内幹線道路の整備を進めることで、交通渋滞の解消とバス交通の利便性向上を図ってまいります。

⑥ 行政経営改革の推進

行政経営改革を更に進め、市民の皆様から、より信頼される市役所を確立いたします。

まずは、全国の市区町村に先駆けて導入した新公会計制度を最大限に活かし、徹底した効率化と事業のスピードアップを図ってまいります。

また、市有建築物の老朽化に伴い、維持保全費用が集中する時代を迎えています。社会的なニーズを考慮し、施設の長寿命化や財政支出の平準化を目指した計画的な維持管理を進めることで、施設の安全性と良好な行政サービスの確保に努めてまいります。

そして、市政懇談会やコールセンターなどにお寄せいただいた声から市民ニーズを的確に把握し、それを反映した効果的な事業を実施することで、高品質な行政サービスを提供してまいります。

私は、町田市が将来にわたり、市内、市外を問わず多くの方々から「住みたい」、「訪れたい」、「活動したい」と思ってもらえるようなまちとなるよう、全力を挙げて取り組んでまいります。

これからの市政運営について、市民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

6
つ
の
重
点
施
策